

保健福祉企画総務課長 様

南区役所地域整備課長

岡山市くらしやすい福祉のまちづくり設計支援委員の
意見等について（報告）

下記施設整備事業について、令和6年2月22日岡山市くらしやすい福祉のまちづくり設計支援委員（以下「委員」という。）に意見を聴いた結果を報告します。

記

事業名 (整備概要)	市道三浜町築港栄町線道路改良事業	
委員からの意見	委員の意見に対する回答	
新設するバス停について、新設の点字ブロックから乗車位置まで点字ブロックを敷設するのか。 新設するバス停は歩道に切り込んでいるが、切り込んだ区間の歩道の幅員はいくらになるのか。 終点部の横断歩道にはエスコートゾーンは設置しないのか。	バスが停車する位置まで敷設する計画です。 この区間には水路がありますが、蓋掛けをして歩道幅員2.5mを確保する計画です。 当路線は音響式信号機が既存で設置してある交差点もあり、エスコートゾーンの管轄である警察と協議したところ、県全体で設置の要望が多いことや当路線において地元から設置の要望がないことを踏まえると優先的に設置することは難しいとの回答がありました。	

<p>終点部の複合商業施設側から南側の歩道へ、新規で横断歩道の設置は行わないのか。複合商業施設側から2つ横断歩道を通らないと南側へ行けないので、設置を検討してほしい。</p>	<p>横断歩道の管轄は警察のため、ご意見があったことをお伝えします。</p>
<p>植樹帯を1.0mに縮小することだが、既存の植樹は移植か。移植の場合、既存の植樹が大きく、歩道の有効幅を3.0m確保できなくなることはないか。</p>	<p>試掘を行い、根の状況を樹木医と確認したところ、根が発達しており、また幹も太いため、移植は困難であることがわかりました。そのため、既存の植樹は撤去し、同種の植樹を新しく植えることとしており、歩道の有効幅は3.0m確保する予定です。 この点について、地元にも確認し、植樹帯を縮小することに関して同意を得ております。</p>
<p>築港新町バス停は歩道を切り込んでいるが、この区間の歩道の幅員はいくらになるか。</p>	<p>この切り込んでいる箇所は植樹帯がなくなるので歩道の幅員は2.5mとなります。</p>
<p>現状、植樹の根が張って歩道が浮いたり、表面が凸凹になっている場所がある。改良後も同様の状況になると思われるがどのように対応していくのか。</p>	<p>新しくバリアフリー路線に指定されていることから、今以上の維持管理を徹底して行っていくことを考えております。</p>
<p>既存のバス停に新しく上屋を付けないのか。</p>	<p>現状上屋がついていないバス停に上屋を新設する予定はありません。</p>
<p>岡南ハッピータウン駐車場付近の、現在柵が設置してある溝の部分は歩道として利用できるようになるのか。</p>	<p>蓋掛けし、歩道として利用できるようにする計画です。</p>
<p>歩道を切り込んでいるバス停部で側溝蓋と点字ブロックが近接しすぎているようだが、走行性に問題はないのか。</p>	<p>基本的に点字ブロックの位置は既存側溝端部より600mm程度の離隔をとり配置する計画とします。前後の線形を考慮するとバス停部については側溝との離隔が近くなってしまっていますが、既存側溝の蓋を改良し、走行性に問題ないよう計画します。</p>
<p>グレーチングを設置している箇所について、車椅子のタイヤが挟まらないような仕様になっているのか。</p>	<p>仕様について確認し、走行性に問題がないよう検討します。</p>

<p>バス停の屋根の下にはベンチを設置するの か。</p>	<p>築港新町バス停及び新設するバス停のベン チは岡山市が設置します。</p>
<p>バス停のベンチと点字ブロックが近すぎると ベンチに座っている人の足がブロックを覆っ ていることがある。今の計画でこのようなこ とが起こり得るか。</p>	<p>ベンチとの離隔が少ないことが考えられる ので、再検討を行います。</p>
<p>バス停の乗車位置に関して、歩道と車道の高 低差はどれくらいあるのか。</p>	<p>バス停部にはバリアレス縁石を使用し、乗り 入れしやすいよう計画しています。高さは 20cmほど歩道側が高くなります。</p>
<p>スクランブル交差点南東部（進行方向西→北） の線状ブロックで一部繋がっていない箇所が あるため繋げてほしい。</p>	<p>計画に反映します。</p>
<p>おかやま信用金庫とスーパーマーケット間を 往來するための線状ブロックが交差点部にな い。線状ブロックがないとその先が渡れない と判断してしまうので設置を検討してほし い。</p>	<p>この計画は岡山県福祉のまちづくり条例施 設整備マニュアルを準拠しており、横断歩道 がない場合は、点状ブロックで端部処理する こととなっているため、このようにしていま す。</p>
<p>本事業をバリアフリー路線として整備してい くなら、エスコートゾーン、視覚障害者用付 加装置付信号機や横断歩道の設置を進めてい くべきではないか。</p>	<p>これらの施設の設置について岡山市で設置 が可能か検討しますが、管轄自体は警察にな るため警察と協議し、再検討します。</p>
<p>スクランブル交差点に自転車横断帯が設置さ れていない、同様にあけぼの町バス停の交差 点には自転車横断帯が設置されていないのは なぜか。</p>	<p>自転車横断帯は警察の管轄になるため、警察 に確認します。同様にあけぼの町バス停の交 差点に自転車横断帯が設置されていない理 由についても確認します。</p>
<p>バス停にはベンチおよび屋根の柱を設置する ことになるが、車椅子の乗降に支障になら ないか。</p>	<p>ベンチ等の設置により幅員が狭くなります が、歩道の有効幅員は確保しています。乗入 口は4～5mの範囲になり、その区間には支障 となる物は設置しない計画としています。</p>

<p>児島湖会館側の横断歩道の点状ブロックについて、計画の点字ブロックでは数が多すぎるのではないか。一般の人の利用も考慮して最小限の設置を検討していただきたい。</p>	<p>岡山県福祉のまちづくり条例施設整備マニュアルにおける横断歩道の幅員が広い場合を参考に計画しています。点状ブロックの数については減らすことは可能ですので、再度検討します。</p>
--	---